



1947年開校

創立75年

や も と

「4月号」令和 4年 4月 22日発行

虹の向こうに

校長 高部 振司

「虹始見」(にじ はじめて あらわる) 空にかかる虹が見られる気持ちのよい季節となりました。今年は何度、虹を見ることができのでしょうか。

そして今年も空を切って飛ぶツバメの姿が見られるようになりま

した。全長 17cm。(削っていない鉛筆の長さと同様)の小さな体でフィリピン、マレーシアから台湾を経由して2千km以上も渡ってくる愛らしい鳥。家の軒下(のきした)に巣をつくるツバメは、「雷や火事を防ぐ生きもの」と信じられ、「子どもを生き育てるめでたい鳥」として今も人々に愛され、大切にされています。お店の軒先や消防署、警察署、駅のホームなどで、子育てから巣立ちまでを見せてくれる身近な鳥です。



4月7日に行われた入学式は3年連続して、新入生と教職員、PTA会長だけの式となりましたが、厳粛な雰囲気の中、新入生は緊張した面持ちながら新たな希望を胸に抱き、式に臨みました。

「心身が大きく成長する時期に大切にして欲しい食事、運動、睡眠のこと」、「できることを一つずつ行いながら自分の良さを見つけ伸ばすこと」。この二つのことに合わせて、同席できなかった家族や地域の方々に感謝の気持ちを自分の言葉で伝えるよう入学式では話をしました。

少しずつ変わりつつある日常のあたりまえですが、変わらず大切にしなければいけないことも多くあります。地域の方々や、保護者の皆様に今年度もご理解、ご協力、ご支援をいただきながら、教職員と共に教育活動を進めてまいります。新1年生は7クラス(1クラス増)、学校全体で735名の生徒、そして教職員共々どうぞよろしくお願いいたします。

2、3年生のみなさんも、一年間を通して、自分を見つめ、努力を重ね、挑戦を続けましょう。みなさんのその姿が周囲の人々の力になります。自分の日々の行動や取組の大切さに自覚を持ち、ていねいに生活を送りましょう。先生方、職員共々応援しています。

学校教育目標

「たくましく、生きる力を育むために」

○自ら学習に意欲的に取り組む姿勢と、確かな学力を育てます。【知】

○豊かなかかわり合いを通して社会性を育み、思いやりの心を育てます。【特】【公】

○自他の生命を尊重し、心身の健康を維持・向上していく力を育てます。【体】【開】